

## 平成29年度事業報告

### 1 今治湯ノ浦ハイツ運営事業

#### (1) 平成29年度事業報告

##### ア 総括

平成29年度は、今治湯ノ浦ハイツ開業40周年となる年度で利用者の皆様に感謝と、還元を掲げて企画商品や優待に取り組んだ。また安定した利益を生み出す営業内容とするために、継続事業の活用と顧客作りにも重点をおいた1年であった。

そのような中で上半期の営業において宿泊、宴会部門とも通年繁忙期となる時期に売上を確保することが出来ず8月、9月の合宿利用でもマイナスし売上前年比85%、13,416,638円のマイナスとなった。

下半期に入り、秋にえひめ国体、えひめ大会と大きな大会が行われ宿泊施設としては安定した利用があり売上を確保することが出来た。また売上比率の高い宴会部門では、JA越智今治の年金友の会、30件、2,907名、売上12,881,080円を計上した点も大きく下半期の売上は98,843,435円で前年比119%、15,563,344円のプラスとなった。当年は下半期に売上を計上できる大きなイベントがあり、上半期のマイナスをカバーすることができた。またクアハウス内のレストランで3,758,057円を計上し当年度施設利用料収益は179,606,794円、売上前年比101%プラス2,146,706円で終了した。

そのような営業の中で、1月より働き方改革として人員不足への対応、また経費の削減を目的に売上の伸びない時間帯の営業の見直しおこない、月曜日のランチバイキングと日帰り入浴の定休日を設けた。利用者への案内を行いながら現時点で大きな問題は出ていないが経過に関して注意してみてゆくことにしている。

今後の課題も含めて以下4期に分けて営業状況を報告する。

##### イ 営業状況

###### (ア) 第1期(4月～6月)

この期間は、予算、前年ともにマイナスした。

4月は総会、5月のゴールデンウィークとそれぞれ顧客の受け入れが重要なポイントであるが宴会の受注において1件当たりの人数が減少しており、既存利用者が今後も高齢化してゆくことを考慮すれば、今後もその傾向にあると予測している。宿泊の客室稼働を上げるためにビジネスプラン等泊食分離の商品を企画販売し始めたのもこの時期で若干ではあるが成果はあったと考えている。

6月は宿泊、宴会ともに利用の少ない時期で、インターネットからの受注も伸びず、宿泊のマイナスに伴い必然的にレストランも大きなマイナスとなった。

###### (イ) 第2期(7月～9月)

7月は6月に続き閑散期となる。昨年は小学生の大会が開催されたが当年はその予約が8月になったため大学生の合宿の時期にかかり昨年を下回る内容となった。それに加えて週末に台風の影響を受け大会がキャンセルし損失となった。パリカップと題したこの小中学生中心のサッカー大会では集客人数793名収入4,

801千円、客単価6,055円と低単価での受注となった。

この大会の30年の開催は予定が未定のため大学生の合宿も優先しながら収入を確保する方針を取っている。

8月は個人客中心、特にお盆期間中に単価の高い予約の受注に取り組み、家族の食事会の受注もあったが後半は空室が目立ち十分な成果をあげることができなかった。

9月の宴会では、年金友の会ほか予約の受注があったが、宿泊収入は伸びず利益の確保ができなかった。料飲売上げは食材コストが影響し利益を出しにくい中で、当年の食材の高騰は大きく、原価の管理にも注意し収益の悪化を止めるべく取り組んだ月であった。

#### (ウ) 第3期(10月~12月)

10月に開催されたえひめ国体、えひめ大会で大きく売上が伸びた。

えひめ国体延べ人数630名、売上6,472千円、えひめ大会延べ人数410名、売上4,438千円とプラスの要因である。今回のえひめ大会においては高齢者や障害のある方がたの受け入れにおいて今後の在り方を決める重要な受け入れであったと感じている。大会前の説明会や終了後の利用者のコメントを今後の施設づくりに生かしてゆきたい。

また当館で大きなウェイトを占める宴会においても大型の団体が続き、前半のマイナスをカバーすることが出来た。

11月、12月には国体で開催を遅らせていたイベント開催やお遍路さんの利用があって宿泊売上が前年比152%、総売上前年対比120%とプラスし第3四半期はよい結果となった。

ただ、次年度にはこのような要因はなく丁寧な営業により売上確保に努めるよう指導してゆく。

#### (エ) 第4期(1月~3月)

1月の営業で重要なポイントは、正月3日間の収入の確保にある。

それ以降は団体での利用が少なくなるためレストランのランチバイキングに人気の鍋フェアを開催し地元の利用者の来館を促し443名の来館があった。

2月、3月は一般の集客が難しい時期であり、団体、特に合宿を強化する月である。合宿は実施日の6か月前から下見での来館があり。その対応で受注が決まってしまう。今回は仮予約から本契約に至る期間が短く、合宿・大会での利用件数12件、延べ人数1,239名、売上9,531千円を計上する。また通常であればこの時期に発生しない年金友の会や新入社員の宿泊研修の受注もあって売上を確保できたことで前年より良い結果となった。

### ウ 課題

#### (ア)

当施設は季節ごとの売上の変動幅に加えて、団体やイベントの発生時期による外的要因の影響が強い。団体の受注に関しては収入の確保の面で重要であるが、本来の個人旅行の受け入れもおろそかにはできず、日々の業務内容の充実を要求される。来館した利用者の満足度をいかに高めるか、そのために利用者のニーズ

や苦情にも気を配り改善を進めることとする。

(イ)

また合宿の受注に関しては一社独占のような受け入れから幅広い旅行エージェントからの集客を目指し、個人客の情報収集や団体においても主催者やエージェントとのより良い関係、協力体制を作ることで、相互に利益が循環するよう意識して取り組むこととする。

(ウ)

費用面では今後大きな出費が見込まれる施設の設備に関して、不具合の際に早急に対応できるよう各業者との連絡を密におこなうこととする。

また、保守、点検にも気を配り、正常な状態の維持に努める。

(エ)

今後の事業の安定を考えるにあたって、人員体制強化は急務で、欠員の際の補充及び各職員の職務の向上を目的に昇格や配置転換も視野におき充実を図ることとする。

## (2) 月別利用人員・利用料金集計表

(単位:利用人員 人・利用料金 円)

	利用人員						利用料金					
	平成29年度 実績	平成28年度 実績	平成27年度 実績	対比		平成29年度 実績	平成28年度 実績	平成27年度 実績	対比			
				28年度	27年度				28年度	27年度		
4月	3,803	4,487	4,830	84.8%	78.7%	15,420,738	18,103,317	17,850,260	85.2%	86.4%		
5月	3,356	4,025	3,823	83.4%	87.8%	15,066,264	17,000,482	15,421,847	88.6%	97.7%		
6月	2,428	3,059	3,212	79.4%	75.6%	9,270,136	10,971,225	10,837,155	84.5%	85.5%		
7月	2,892	3,503	2,948	82.6%	98.1%	12,228,186	12,898,641	9,353,933	94.8%	130.7%		
8月	3,952	4,901	4,814	80.6%	82.1%	17,664,267	22,093,044	18,640,667	80.0%	94.8%		
9月	2,723	3,752	4,979	72.6%	54.7%	11,113,768	13,113,288	17,725,701	84.8%	62.7%		
10月	4,351	4,076	4,339	106.7%	100.3%	24,908,518	16,695,262	17,521,425	149.2%	142.2%		
11月	4,377	4,250	5,666	103.0%	77.3%	19,004,384	18,249,025	22,476,828	104.1%	84.6%		
12月	4,594	4,202	5,254	109.3%	87.4%	18,525,848	16,378,800	19,496,434	113.1%	95.0%		
1月	2,832	2,983	3,295	94.9%	85.9%	9,942,621	9,468,686	10,922,182	105.0%	91.0%		
2月	3,253	2,913	4,265	111.7%	76.3%	11,247,830	9,317,750	11,627,957	120.7%	96.7%		
3月	3,820	3,775	4,539	101.2%	84.2%	15,214,234	13,170,568	17,941,033	115.5%	84.8%		
計	42,381	45,926	51,964	92.3%	81.6%	179,606,794	177,460,088	189,815,422	101.2%	94.6%		

※ 利用料金に受託料収益、雑収益は含まれません。

(3) 月別・部門別利用人員集計表

(単位:人)

部門別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率
宿 泊	宿 泊	1,333	1,656	686	1,079	2,135	837	1,841	1,307	1,568	887	1,333	1,668	16,330	38.5%
	宿 泊	916	1,118	319	672	1,671	472	1,521	908	1,073	325	835	1,222	11,052	26.1%
	入 浴	408	532	365	401	458	364	315	391	484	555	494	437	5,204	12.3%
	カラオケルーム	9	6	2	6	6	1	5	8	11	7	4	9	74	0.2%
宴 会	宴 会	1,443	602	978	943	645	1,166	1,762	2,052	1,726	1,147	604	823	13,891	32.8%
	会 議 研 修	320	99	47	147	66	10	92	26	126	97	91	124	1,245	2.9%
	宿 泊 宴 会	20	0	32	77	73	14	103	0	52	10	0	20	401	0.9%
	日 帰 宴 会	1,103	503	899	663	506	1,142	1,567	2,026	1,548	1,040	513	679	12,189	28.8%
	婚 礼	0	0	0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0.1%
レ ス ト ラ ン	レ ス ト ラ ン	1,027	1,098	764	870	1,172	720	748	1,018	1,300	798	1,316	1,329	12,160	28.7%
	レ ス ト ラ ン	310	424	197	221	545	171	243	451	766	244	804	706	5,082	12.0%
	ラ ン チ バ イ キ ン グ	551	564	398	456	510	407	316	339	434	443	476	533	5,427	12.8%
	喫 茶	166	110	169	193	117	142	189	228	100	111	36	90	1,651	3.9%
計		3,803	3,356	2,428	2,892	3,952	2,723	4,351	4,377	4,594	2,832	3,253	3,820	42,381	100.0%

※ 利用人員にその他部門の利用人員は含まれません。

## 2 今治市桜井総合公園・今治市湯ノ浦パークゴルフ広場管理事業

### (1) 平成 29 年度事業報告

平成 29 年度も「人の集まる公園」をテーマに以下の 3 点の重点項目に取り組んだ結果、その状況を報告する。

1 つ目、桜井総合公園は広大な自然公園と瀬戸内海国立公園を広く望める環境にあることから、パンフレットを作成し利用者に来園を促すよう情報発信に取り組んだ。植栽管理では「花のある公園づくり」をすすめながら、開花時期の情報を湯ノ浦ハイツのホームページでも取り入れながら発信した。

2 つ目はテニスコート、グラウンド、パークゴルフ広場などのスポーツ施設の利用者の増加を目標とした。しかし、いままで週末に一定の利用があった学生の大会の申し込みが他の施設へ分散し、スポーツ施設全体の利用料収益は前年比 83% とマイナスした。その中でもテニスコートは利用料収益が前年比 78.8% と一番大きなマイナスとなった。夜間の利用者は固定化していたがその時間帯もマイナス傾向にある。パークゴルフ広場においては、週末家族連れの利用がみられ、平日は会員中心の利用が目立った。会員数は少しずつ伸びている。グラウンドはソフトボールや野球の大会、小学生のサッカー大会、イベント会場としても利用があるが、夜間のサッカースクールは減少し全体的にマイナスとなっている。

3 つ目、湯ノ浦地域・桜井地域の知名度を高め集客を図ることを目的としたイベントの開催では 11 月の「桜井・湯ノ浦温泉まつり」3 月の「今治湯ノ浦温泉シクロクロスイン桜井」の地域と連動したイベント、そして、今回 3 回目、9 月に開催された「青空マルシェ」は、若い女性、家族客の来園が多数あった。継続したイベントとなるよう桜井・湯ノ浦温泉活性化協議会としても協力し今後も新たな利用が増えることを見込んでいる。それぞれの、イベントでの来園者は年齢、性別が多岐にわたっており SNS での情報発信も増えていることから相乗効果となっている。特にイベントの際は遊具等の利用者も増えるため、案内板を設置しスタッフを増員するなど安全面にも気を配っている。

また人員配置では公益社団法人今治市シルバー人材センターからの派遣の受け入れ、障害者就労支援の一環として小規模の除草作業の依頼や職場体験学習の受け入れを行って地域との関係をより密接なものにするよう取り組んでいる。

これらの取り組みにより来園者の増加を図ったが、利用人数は、39,083 名、前年比 83% とマイナスでの終了となった。

そして、今後の環境維持のためには、倒木、不要木の処分等の管理も重要で、この地域で構成される今治湯ノ浦温泉活性化協議会のなかでも今後の公園の在り方が議論されており今治市公園緑地課とも、調整しながら取り組むこととする。



### 3 今治市サイクリングターミナル管理事業

#### (1) 平成 29 年度事業報告

サンライズ系山は今治市の公共の施設として本来の宿泊施設としての機能に加えて、サイクリングターミナルとしてサイクリストも含めた利用者の利便性や快適性を向上させながら、瀬戸内しまなみ海道の観光資源をアピールし満足度を高めることによりその増加に取り組んでいる。

当年の大きな出来事として10月に皇太子殿下が地方事情ご視察として当施設への行啓が実施され、改めて施設の注目度の高さと重要性を感じている。

宿泊利用者に関しては、当年えひめ国体の受け入れ施設として、5 県受け入れ6 泊延べ人数 3 5 9 人と一室あたりの収容人数が多い当館としては効率の良い受注、対応が出来たと見ている。また合宿ではサイクリングチーム、野球チームなどの受注もあった。宿泊に付随する食の面では泊食分離がいられているが、テナントである飲食施設や周辺の飲食施設と連動し宿泊客のニーズにお応えできる和食や今治名物のやきとりを盛り込んだ商品づくりにも取り組んでいる。

3 年目となるが来島大橋を経由し馬島までのミニサイクリングツアーを当館スタッフがガイドのもと宿泊客限定で行っている。参加人数は448人で参加者からは大変好評でお客様とスタッフとのコミュニケーションが図られ良い思い出作りのお手伝いが出来たと確信し、今後も継続して実施する。またお客様を案内するにあたり馬島の海岸部分の清掃作業も行い景観の維持と地元の方とのコミュニケーションをとっている。その他、自主事業として一般参加型のガイド付きツアーをモンベル、クラブツーリズムの2社と企画設定し催行した。このようなツアーを催行することにより、しまなみ海道の魅力を発信し利用者の増加につなげたいと考えている。

また施設内での物品販売ではオリジナル商品も加えて、季節ごとにサイクリストのニーズの合った商品を販売し事業収益の確保に努めた。それにより本年度売店売上は3,320,000円、前年を545,000円上回る好結果となっている。

施設の維持管理面では老朽箇所や設備がみられるが、それに対して今治市から玄関前のプレートの補修や、ロビー天井の電灯のLEDへの交換、空調設備などの補修を行っていただき、今後の運営において経費の節減にもおおきな効果があると見込んでいる。このような状況の中で宿泊利用人数は9,447人、対前年比104%、一時利用人数3,168人、対前年比114%で終了した。

(2) 月別利用人員・利用料金集計表

(単位:利用人員 人・利用料金 円)

	利用人員						利用料金					
	平成29年度 実績	平成28年度 実績	平成27年度 実績	対比		平成29年度 実績	平成28年度 実績	平成27年度 実績	対比			
				28年度	27年度				28年度	27年度		
4月	1,091	1,151	1,211	94.8%	90.1%	3,398,684	3,448,815	3,565,438	98.5%	95.3%		
5月	1,277	1,270	1,301	100.6%	98.2%	4,097,479	3,838,017	4,098,226	106.8%	100.0%		
6月	703	659	665	106.7%	105.7%	2,020,766	1,910,456	1,979,188	105.8%	102.1%		
7月	1,101	960	943	114.7%	116.8%	3,129,913	2,884,430	2,980,489	108.5%	105.0%		
8月	1,590	1,371	1,410	116.0%	112.8%	4,699,140	4,206,116	4,382,020	111.7%	107.2%		
9月	1,157	911	1,109	127.0%	104.3%	3,460,677	2,852,938	3,420,358	121.3%	101.2%		
10月	1,119	1,108	1,211	101.0%	92.4%	3,242,020	3,319,734	3,793,246	97.7%	85.5%		
11月	1,203	988	986	121.8%	122.0%	3,126,009	2,938,082	2,677,822	106.4%	116.7%		
12月	797	823	710	96.8%	112.3%	2,168,261	2,224,099	1,930,607	97.5%	112.3%		
1月	601	644	664	93.3%	90.5%	1,468,136	1,747,709	1,880,585	84.0%	78.1%		
2月	518	269	409	192.6%	126.7%	1,365,560	711,664	1,315,406	191.9%	103.8%		
3月	1,458	1,625	1,438	89.7%	101.4%	3,663,847	4,286,929	4,113,322	85.5%	89.1%		
計	12,615	11,779	12,057	107.1%	104.6%	35,840,492	34,368,989	36,136,707	104.3%	99.2%		

※ 利用料金に飲食提供業務収益以外の雑収益は含まれません。

(3) 月別・部門別利用人員集計表

(単位:人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率
部門別														
宿 泊	894	1,083	489	846	1,371	908	852	778	582	326	315	1,003	9,447	74.9%
一 時 使 用	197	194	214	255	219	249	267	425	215	275	203	455	3,168	25.1%
計	1,091	1,277	703	1,101	1,590	1,157	1,119	1,203	797	601	518	1,458	12,615	100.0%



## 4 今治市レンタサイクル管理事業

### (1) 平成 29 年度事業報告

平成 29 年度はしまなみ海道の自転車通行料の無料化が継続され、4 月には日本最古の海賊の本拠地芸予諸島が日本遺産に認定されるなど話題も豊富で、さらに雑誌、メディア媒体への露出も高くレンタサイクルの利用者は 55,909 人对前年比 104% とプラスにて終了した。

レンタサイクル事業の運営面においては、安全、安心、快適な環境づくりに重点をおいている。自転車の安全利用に関する意識の向上として、前年度に引き続きヘルメット着用を促し 100% の着用率となっている。また尾道まで完走した利用者には完走賞を発行、その完走賞は 6,700 枚となっています。また安心して自転車に乗って頂くための教室として幼児を対象とした補助輪なしで自転車にのれるようキッズチャレンジサイクリングを年 2 回おこない全員 2 時間以内で自走が可能となった。

又島嶼部での自転車歩行者専用道の安全を目的に清掃を年 2 回行った。

それと同時に危険個所の確認をおこない愛媛県、今治市への提言を行っている。

レンタサイクルにおいては今治市の協力のもとクロスバイクの点検、整備を重点的に実施いたしました。今後も定期的の実施し品質の維持に努める。

又、費用の軽減と職員のスキルアップにむけて、パンク修理、タイヤ交換、など軽微な修繕作業は職員で行い効果があった。

しまなみ海道のサイクリング事業は今後も広い範囲にわたって観光事業の大きな柱になると考えていて尾道市側のレンタサイクル管理者とも連携し相互によりよい環境作りに取り組んでいる。レンタサイクルの相互回収、繁忙期のレンタサイクル相互貸し出しなど回収経費の削減と利用者の利便性が改善されつつある。

物販ではサイクリングに関連した商品を販売し 2,178,000 円を計上し今後も商品を見直しながら増収に取り組むこととする。

(2) 月別利用人員・利用料金集計表

(単位:利用人員 人・利用料金 円)

	利用人員						利用料金					
	平成29年度 実 績	平成28年度 実 績	平成27年度 実 績	対比		平成29年度 実 績	平成28年度 実 績	平成27年度 実 績	対比			
				28年度	27年度				28年度	27年度		
4月	5,919	5,184	4,332	114.2%	136.6%	6,866,200	5,896,810	3,028,820	116.4%	226.7%		
5月	8,977	7,846	9,169	114.4%	97.9%	10,481,370	9,028,960	6,470,210	116.1%	162.0%		
6月	3,288	2,749	3,506	119.6%	93.8%	4,132,900	3,344,850	2,267,320	123.6%	182.3%		
7月	3,858	3,572	3,881	108.0%	99.4%	4,563,390	4,079,700	2,377,590	111.9%	191.9%		
8月	8,484	7,538	8,324	112.5%	101.9%	9,609,290	8,140,410	5,542,720	118.0%	173.4%		
9月	4,824	4,362	7,659	110.6%	63.0%	6,011,650	5,200,820	5,379,490	115.6%	111.8%		
10月	4,374	6,843	6,831	63.9%	64.0%	5,363,250	8,215,290	8,068,390	65.3%	66.5%		
11月	5,252	5,127	4,528	102.4%	116.0%	6,461,540	6,248,300	5,382,860	103.4%	120.0%		
12月	1,745	1,769	1,930	98.6%	90.4%	2,036,200	2,031,200	2,221,650	100.2%	91.7%		
1月	1,238	1,309	1,286	94.6%	96.3%	1,389,250	1,482,350	1,379,650	93.7%	100.7%		
2月	1,266	1,119	1,363	113.1%	92.9%	1,632,550	1,340,950	1,703,420	121.7%	95.8%		
3月	6,684	6,179	6,066	108.2%	110.2%	7,855,770	7,185,110	7,029,930	109.3%	111.7%		
計	55,909	53,597	58,875	104.3%	95.0%	66,403,360	62,194,750	50,852,050	106.8%	130.6%		

※ 利用料金に受託料収益、雑収益は含まれません。

(3) 月別・部門別利用人員集計表

(単位:人)

部門別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率
レンタサイクル		5,919	8,977	3,288	3,858	8,484	4,824	4,374	5,252	1,745	1,238	1,266	6,684	55,909	100.0%
	中央ターミナル	4,273	6,282	2,358	2,960	6,252	3,623	2,837	3,740	1,279	938	958	4,851	40,351	72.2%
	吉海ターミナル	364	655	367	155	385	202	523	517	67	59	68	301	3,663	6.6%
	宮窪ターミナル	44	143	51	38	140	52	48	51	20	19	23	117	746	1.3%
	伯方ターミナル	211	336	73	120	348	159	140	175	43	39	37	219	1,900	3.4%
	上浦ターミナル	858	1,155	355	468	1,056	661	647	625	286	137	136	943	7,327	13.1%
	大三島ターミナル	123	247	64	75	167	76	136	78	30	19	20	142	1,177	2.1%
	みなと交流センター	46	159	20	42	136	51	43	66	20	27	24	111	745	1.3%
レンタサイクル乗捨		1,303	1,929	835	899	1,822	1,182	1,095	1,335	377	233	341	1,566	12,917	100.0%
	中央ターミナル	977	1,411	605	749	1,344	961	827	932	300	178	255	1,200	9,739	75.4%
	吉海ターミナル	52	180	101	27	94	39	101	216	16	11	31	70	938	7.3%
	宮窪ターミナル	11	21	12	4	62	4	10	4	5	3	16	29	181	1.4%
	伯方ターミナル	57	77	16	25	99	30	21	35	14	10	8	58	450	3.5%
	上浦ターミナル	169	142	74	59	134	92	93	107	33	25	16	128	1,072	8.3%
	大三島ターミナル	25	41	11	14	27	36	30	14	3	3	6	28	238	1.8%
	みなと交流センター	12	57	16	21	62	20	13	27	6	3	9	53	299	2.3%

※ 利用人員は延べ人員となります。